

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	吉田 利信		
居室	西1-516		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yoshida@ice.uec.ac.jp	<a href="https://www.edu.cc.uec.ac.jp/pc/CL/F1/index.php">https://www.edu.cc.uec.ac.jp/pc/CL/F1/index.php</a> <a href="https://www.edu.cc.uec.ac.jp/pc/CL/F2/index.php">https://www.edu.cc.uec.ac.jp/pc/CL/F2/index.php</a>

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>(a) 主題：          問題解決型学習(PBL: Problem-Based Learning)の考え方を踏まえて，          具体的な課題を解決することを目標に，          ・オペレーティングシステムUNIXの基本事項          ・アプリケーションソフトウェアの使い方          ・情報モラル・セキュリティ          の3つの基本事項について学習する．</p> <p>(b) 達成目標：          1．Webに用意された自習用教材や参考書やWeb等を活用して，          以下の3つを基本事項を身につけること．          (a) コンピュータシステムやオペレーティングシステムUNIXの基本事項を学ぶ．          - ファイルシステムによる情報の蓄積・管理          - 電子メール          - コンピュータネットワークによる情報の送受信          (b) 以下のアプリケーションソフトウェアの基本的な使い方を学ぶ．          - 文書編集 emacs          - 電子メール mew          - Webページ作成 HTML          - 文書清書 Tex          (c) 情報モラル・セキュリティに関する基本的知識を習得する．</p> <p>2．基本事項の学習を活かして，グループ作業を通しての問題解決型学習ができるようになること．</p>
--

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

3. 問題解決で得られた成果物を学生同士で相互に評価することで、問題解決過程を見直すことができるようになること。

### 【前もって履修しておくべき科目】

なし

### 【前もって履修しておくことが望ましい科目】

なし

### 【教科書等】

参考書：渡邊成良・若月光夫・織田健 / 共著  
「UNIX コンピュータリテラシー（第2版）」（共立出版）

### 【授業内容とその進め方】

#### (a) 授業内容

この授業では、Webの教材を中心に活用して、コンピュータシステムやオペレーティングシステムUNIXの基本事項、アプリケーションソフトウェアの基本的な使い方、情報モラル・セキュリティに関する基本的知識を習得する。Webの教材構成は、次の通りである。

#### Webの教材構成

- ・本学ネットワーク利用ポリシー
- ・システム利用の基本事項
- ・文書の編集・日本語入力
- ・電子メール
- ・UNIXの基本事項
- ・ファイルシステム
- ・情報倫理
- ・文書の清書
- ・コンピュータネットワーク
- ・Webページの作成

#### (b) 授業の進め方

授業の進め方は、以下の通りである。

1. 授業担当教員から課題（基本事項を学ぶための課題を含む）を提示する。
2. Web上の教材や参考書などを参照しながら、課題を解決する。
3. TAによる質問応答

4. 成果物に対する学生同士の相互評価 (Peer Review)

なお、課題については、次の通り行う。

- ・14週ある授業のうち、前半の8週は毎週課題を提示する。  
これらの課題は、達成目標1の3つの基本事項に関する課題である。
- ・後半は6週かけて行う問題解決型の課題を提示する。  
この課題は、学生4名程度のグループで行う。  
Unix上のアプリケーションを用いて、問題解決の成果物をホームページとして作成する。

(c) 授業時間外の学習 (予習・復習) について

本授業の達成目標に掲げた知識を習得するためには、日頃からシステムを使いことが必須である。そのため、授業の進捗状況に応じて、必ずWeb教材を用いた予習・復習を行うこと。また、課題の解決に際しても、授業時間外にWeb教材を閲覧しながら取り組むこと。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価基準(最低達成基準)

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

1. 漢字仮名混じりのテキスト文の作成、編集ができる。
2. 電子メールの送受信ができる。
3. UNIXの基本コマンドを使用することができる。
4. ファイルシステムを理解している。
5. 以上を組み合わせ、  
文書作成作業・Webページ作成作業を遂行できる。
6. 計算機の利用におけるモラル、セキュリティー、  
ネットワーク利用ポリシーの基本事項を理解している。

成績評価方法

- ・前半の8週は、毎週の課題の達成状況に応じて毎週評価する。  
8週で80点満点とする。
- ・後半の課題に対しては、課題に対する取り組みの状況と成果物をPeer Reviewの結果も踏まえて評価する。60点満点とする。
- ・上記2つの点を合わせた140点満点を100点満点に換算して評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電子メールで事前にアポイントを取ること。

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【学生へのメッセージ】

- ・UNIX を使った経験のある人はほとんどいないので、コンピュータに初めて触れる人も  
気後れすることなく積極的に学習に取り組んで欲しい。
- ・教材を読むだけでなく、必ずコンピュータを操作し、体験的に学習をすること。
- ・コンピュータの利用は学生の皆さんには必須である。  
本講義で学ぶ内容は、今後の教育・研究活動において実質的に役立つ知識ばかりである。  
しっかりと身につけて欲しい。

### 【その他】

なし